



あの犬種はこうして生まれた!

この犬種はどのような性格?

犬種のルーツで知る、犬の性格と接し方

様々な犬種はこうやって作られるようになってきたんだね!

現在	19世紀	18世紀	17世紀	15世紀	ルネッサンス時代	ギリシャ・ローマ時代	一万年以上前
700~800の犬種が存在。補助犬やセラピーなど新しい役割を担う犬も登場。	ヨーロッパでは、小型愛玩犬が貴族社会のステイタスシンボルとして扱われるように。1837年イギリスでケネルクラブが設立。犬種の標準の作成や品評会を行い、多種多様な愛玩犬が増え、さらに犬種が重視されるようになった。	犬に人と同様に名前をつけるようになる。	ペットとしての犬が誕生。犬の用途が細分化されていく一方で、主に審美的な目的で小型愛玩犬、ペットとしての犬が登場。	フランスで狩猟ブームに。狩猟犬が貴重な存在として扱われるようになる。	交易や民族の移動が盛んになり、各地でさまざまな目的に合わせた犬種が生まれる。	人間が必要とする用途に合わせて、牧羊犬、狩猟犬、闘犬など犬種に広がりが出てくる。	犬と人との共同生活が始まる。

いまから約1万年前の中石器時代には、人と犬の共同生活は始まっていたといわれています。人と犬が出会って共に暮らし始めて以来、犬はその能力を活かすことで役割を持ち、人間にとってなくてはならない存在になっていきました。そして人は犬に様々な役割を果たしてもらえよう、多くの犬種を生み出してきたのです。その結果現在ではたくさんの犬種が存在し、体の大きさもチワワからセントバーナードまで様々です。体型だけではなく、性格や気質においても変化に富んでいます。犬種が作られた目的や特徴を知ることによって、愛犬への理解を深めましょう。

愛犬はどんなルーツを持ったグループ?

もともとの働きや役割によってグループが分かれます。愛犬はどんなルーツを持った犬種でしょうか?

牧羊犬・牧畜犬

羊や牛などの家畜を誘導したり、市場へ移動するのを手伝っていた犬種。

- 主な犬種 ● ウェルシュ・コーギー・ペンブローク ● シェットランド・シープドッグ ● ボーダー・コリー ● ジャーマン・シェパード・ドッグ ● ラフ・コリー ● オールド・イングリッシュ・シープドッグ など

P.31へ

ダックスフンド

地面の穴に住むアナグマや兎用の猟犬。

- 主な犬種
スタンダード、ミニチュア、カニンヘンの3種があり、それぞれ毛質の違いでスムース、ロング、ワイヤーの計9タイプがいる。

P.30へ

嗅覚・視覚ハウンド

すぐれた嗅覚や視力で獲物を見つけ、追い詰める獣猟犬のグループ。

- 主な犬種 <嗅覚> ● ビーグル ● ダルメシアン ● バセット・ハウンド ● ローデシアン・リッジバック など <視覚> ● ウィペット ● サルーキ ● アフガン・ハウンド ● イタリアン・グレーハウンド ● ボルゾイ など

P.29へ

愛玩犬

家庭犬、伴侶や愛玩目的で作りに出された犬種。

- 主な犬種 ● シー・ズー ● チワワ ● パピヨン ● バグ ● キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル ● プードル ● マルチーズ ● フレンチ・ブルドッグ ● ポストン・テリア ● ビション・フリーゼ ● チャイニーズ・クレストッド・ドッグ ● 狆 など

P.28へ

使役犬(番犬・護衛犬)

ネズミ取りや家畜の番などの番犬、警護、作業をする犬。

- 主な犬種 ● バーニーズ・マウンテン・ドッグ ● ニューファンドランド ● ブルドッグ ● セントバーナード ● ミニチュア・シュナウザー ● ミニチュア・ピンシャー ● グレート・ピレニーズ ● ドーベルマン ● ボクサー など

P.31へ

テリア

穴の中に住むキツネなど小動物の狩りで活躍していた猟犬。

- 主な犬種 ● ウェスト・ハイランド・ホワイト・テリア ● ジャックラッセル・テリア ● エアデール・テリア ● ベドリントン・テリア ● ヨークシャー・テリア ● ワイアー・フォックス・テリア など

P.30へ

原始的な犬・スピッツ

日本犬を含む尖った口先と立ち耳を持つスピッツタイプと、原始タイプの犬種。

- 主な犬種 ● 秋田 ● アラスカン・マラミュート ● 甲斐 ● 紀州 ● サモエド ● 柴 ● シベリアン・ハスキー ● ポメラニアン ● パセンジー など

P.29へ

鳥猟犬

猟の際に獲物の鳥を見つけたり、撃ち落された鳥を回収していた犬種。

- 主な犬種 ● アメリカン・コッカー・スパニエル ● アイリッシュ・セター ● イングリッシュ・ポインター ● ワイマラナー ● ゴールデン・レトリバー ● ラブラドル・レトリバー など

P.28へ

※上のグループ分けはJKC(社団法人ジャパンケネルクラブ)の分類をもとに、ペビイ編集部が作成しました。



イタリアン・グレーハウンド

嗅覚・視覚ハウンド

どんな犬種?

猟犬として獲物を見つけ追いかけて捕獲していた犬種です。
【嗅覚ハウンド】地面についた臭いを優れた嗅覚で追跡し、よくとおる大きな声で吠えて獲物を追い詰めていました。
【視覚ハウンド】優れた視力で遠くから獲物を見つけ、全力疾走で追いかける、すぐれた脚力をもった犬種。空気抵抗を少なくするための流線型でスマートな体形をしています。

どんな性格の子が多いの?

群れで猟をしていたので、団結力が強く、ほかの犬とうまくやることが多いので多頭飼いに向いています。比較のおっとりした犬種が多いグループです。

接し方のポイントは?

狩猟本能が刺激されると興奮してしまうことがあるので、突発的な行動に注意を。
【嗅覚ハウンド】吠えて獲物の動きを止める仕事をしてきたため、吠えやすい傾向があります。
【視覚ハウンド】目の前の動くものに反応してしまうことがあります。お散歩中は引っ張られないように気をつけて。

PICK UP!

ビーグル

♥原産国 イギリス

♥歴史 紀元前にギリシャでウサギ狩りに用いられていた、ハウンドが先祖と考えられています。16世紀イギリスにいた大小2種のハウンドのうち、小さい方がフランス語で小さいという意味の「ビーグル」と呼ばれていました。

♥性格 明るく友好的で遊び好きな性格。子供とも仲良くできます。また用心深く、番犬としても頼りになります。

♥しつけ&お手入れ

よく響く大きな声も持っているため、ムダ吠えをしないようにしつけることがポイントです。お手入れに手間はかかりませんが、耳の中が蒸れやすいのでこまめにケアを。小型ですがスタミナがあるので運動はしっかりと。



鋭い嗅覚を活かして検疫探知犬として活躍。



ポメラニアン

原始的な犬・スピッツ

どんな犬種?

古い犬の特徴を持ったグループで、がっしりした骨格と短い耳、巻き尾の特徴を持つスピッツタイプと、紀元前から存在しているような古いタイプの犬種のグループです。日本原産の多くの犬種が含まれています。

天然記念物に指定されている日本犬 柴犬、紀州犬、秋田犬、甲斐犬、四国犬、北海道犬
明治から昭和初期にかけて洋犬との雑種化が進められ、日本犬は絶滅の危機に。日本犬の復興のために1928年日本犬保存会が設立され保存運動が始まりました。1931年～1937年に天然記念物に指定されました。

どんな性格の子が多いの?

野性味が強く頑固な一面がありますが、信頼できる飼い主には忠実です。しかし独立心も強いのでべったりと甘えることは少ないようです。

接し方のポイントは?

しつけには根気が必要です。警戒心が強く、飼い主以外には慣れにくい犬が多いようです。犬種によっては多くの運動量が必要なため、毎日の散歩は欠かせないようにしましょう。

PICK UP!

柴犬

♥原産国 日本

♥歴史 縄文時代からいた日本古来の土着犬です。歴史の古い貴重な犬種として1936年に国の特別天然記念物に指定されています。

♥性格 小柄ながらも日本犬特有の素朴さと勇敢さを持ち合わせています。忠誠心に富み、飼い主を一途に慕いますが、見知らぬ人には警戒心を抱くことが多いです。

♥しつけ&お手入れ

頑固な一面があるので一貫した態度でしつけを行うことが大切。また警戒心が強いいため、子犬の頃からたくさんの人や動物に慣れさせ、社会性を身につけるようにしましょう。短毛でお手入れは簡単ですが、抜け毛が多いのでこまめなブラッシングが必要です。

素朴さが魅力! 海外でも人気の日本の代表犬種。



アメリカン・コッカー・スパニエル

鳥猟犬

どんな犬種?

鳥の猟で活躍した犬種。獲物を探し出して位置を教える仕事をしてきたポインターやセター、隠れている鳥を追い立て飛び立たせる役割をしていたスパニエル、撃ち落とされた獲物や水の中に落ちた獲物の回収を担当していたレトリバーが含まれます。射撃音から耳を守るためのたれ耳が特徴です。

どんな性格の子が多いの?

飼い主に従順で、攻撃性がきわめて低くおだやかな性格。人も大好きです。また数頭で狩りにいくことが多かったため、ほかの犬にも友好的な子が多いといわれています。

接し方のポイントは?

ほかの犬や人が大好きなので、お散歩中に突進して引っ張られることがあります。活発な犬種や大型犬が多いため運動量はかなり必要です。

PICK UP!

ラブラドル・レトリバー

♥原産国 イギリス

♥歴史 カナダのラブラドル半島周辺の海辺で、流された網を捜したり、網からこぼれた魚を捕えて運ぶ仕事をしてきた犬種がイギリスに渡り、水鳥を回収する猟犬として改良され誕生。

♥性格 とても穏やかでしこく人間が大好き、またほかの犬にも友好的です。

♥しつけ&お手入れ 指示をじっと待つ忍耐強いイメージがありますが、2歳頃まではやんちゃでいたずら好きです。抜け毛は多いのでブラッシングが必要です。また垂れ耳で蒸れやすいので、こまめにチェックを。

盲導犬や介助犬として活躍。アメリカでは人気No.1!





シェットランド・シープドッグ

牧羊犬、牧畜犬

どんな犬種?

名前がしめす通り、牧羊・牧畜を手伝ってきた犬種。羊や牛などの家畜をオオカミなどから守っていたタイプと、家畜の群れを誘導してまとめる役割や、市場へ移動する仕事をしていたタイプがあります。

どんな性格の子が多いの?

飼い主に忠実で、学習能力が高かしくい犬種です。仕事が好きで、何の役割もなく過ごすのが苦手。活動的で運動能力がすぐれているので、ドッグスポーツやアジリティで活躍する犬も多くなります。

接し方のポイントは?

逃げるものを追う習性が強いので、外では自転車やバイクを追いかけしてしまうことがあり、注意が必要です。小型の犬種でも毎日十分な運動はかせませません。仕事ができないことがストレスになるので、ただ走るだけよりも、飼い主さんといっしょにできる遊びがおすすめです。

PICK UP!

ウェルシュ・コーギー・ペンブローク

♥原産国 イギリス

♥歴史 おもにウェルズのペンブロークシャー地方で、牛追い用の犬種として飼育されていました。12世紀のヘンリー二世から現在もイギリス王室で愛されて続けています。

♥性格 活発で明るく好奇心旺盛。牧畜犬出身なので判断能力に優れていてトレーニングの飲み込みも早いでしょう。

♥しつけ&お手入れ

体力があるので毎日十分な運動が必要です。運動不足から肥満にさせないように気をつけて。また体高が低いので、真夏のお散歩では地面からの熱に注意してあげてください。

イギリスで愛され続ける王室の犬



ロングヘアード

ダックスフンド

どんな犬種?

ダックスはドイツ語で「アナグマ」を意味し、その名前が示す通りアナグマやウサギなどの害獣を駆除する犬として生み出されました。穴にもぐりこみやすいよう胴長短脚の独特の体形に。獲物の大きさに合わせてスタンダード、ミニチュア、カニンヘンの3種類のサイズが作られました。

どんな性格の子が多いの?

もともと狩猟犬なので活発でかしく、元気いっぱい。家族といっしょにすることが大好きですが、警戒心が強く知らない人に吠えやすい傾向があります。被毛のタイプによって、それぞれ異なる犬種を交配して作出されたため、性格に違いがあります。

【スムースヘアード】もともと古くダックスフンドの原型となった毛質。

性格は人なつこく陽気。

【ロングヘアード】人なつこく穏やかな性格の子が多い。

【ワイヤーヘアード】ダックスフンドの中では好奇心が旺盛なので、

やんちゃでいたずら好きなタイプが多い。

接し方のポイントは?

獲物に吠えかかって巣穴から追い出す役割だったので、もともと吠えやすく声が大きい犬種です。警戒心からつい吠えてしまう子が多いようです。胴長の体形のため背骨に負担がかかり、椎間板ヘルニアになりやすいので、肥満させないようにしましょう。また飛びつきや階段の上り下りなど背骨に負担がかかることは避けて。



スムースヘアード



ワイヤーヘアード



バーニーズ・マウンテン・ドッグ

使役犬(番犬・護衛犬)

どんな犬種?

狩猟や牧畜以外の分野で幅広い仕事をしてきた犬たち。番犬や救助犬、闘犬、軍用犬など様々な仕事をしてきた犬種が含まれます。大型犬だけではなくネズミ駆除で活躍した、ミニチュア・ピンシャーやミニチュア・シュナウザーもこのグループに含まれます。

どんな性格の子が多いの?

番犬や護衛犬として活躍してきた犬種なので、飼い主さんには忠実です。また警戒心が強く、小型犬でも物怖じしない性格の子が多いようです。

接し方のポイントは?

警戒心の強さから飼い主さん以外の人に吠えることが。また大型で力の強い犬種が多いので、子犬の頃からしっかりとしつけをすることが大切です。

PICK UP!

ミニチュア・シュナウザー

♥原産国 ドイツ

♥歴史 スタンダードシュナウザーにアーフェンピンシャーやブルドッグを交配して小型化され、19世紀にドイツで誕生しました。農場で飼われ、ネズミなどの駆除に活躍していました。

♥性格 好奇心旺盛で勇敢、活発に動き回る元気のいい犬種です。警戒心がありながら怖いものしらずな面もあります。

♥しつけ&お手入れ

どちらかと言うとよく吠える犬種で、しつけを誤るとムダ吠えの癖がついてしまいます。利口でしつけの飲み込みも早いので、きちんと訓練を行えば素晴らしい家庭犬に。抜け毛は少ないですが、「シュナウザーカット」を美しく維持するためには、プロのトリマーにお任せするのがおすすめです。普段はブラッシングと食後の口周りの汚れに気をつけて。

名前の由来はドイツ語の「ひげ」。立派な口ひげと眉毛が哲学者みたい!?



ワイヤー・フォックス・テリア

テリア

どんな犬種?

巣穴にいるウサギやアナグマ、キツネなどの小動物の狩りで活躍していた猟犬。比較的体の小さな種類が多いですが、巣穴から獲物を追い出したり、引っ張り出したりしていたので、活発で気が強く、勇敢な猟犬を祖先に持つグループです。

どんな性格の子が多いの?

好奇心が旺盛で、陽気で活発な性格です。獲物と勇猛に闘っていたこともあり、勇敢で気の強い面も持っています。

テリア気質って?

猟犬の中でも、獲物を攻撃して仕留めることを仕事としていたテリアには、勇敢で活発、好奇心旺盛、はしゃぎやすい、気が強い、頑固、攻撃性が高い、気性が荒い、といった傾向があります。こういった性質を「テリア気質」と呼び、初心者にはしつけの難しい犬種ともいわれています。しかし本来、明るくてかっこいい犬種なので、飼い主との信頼関係ができれば、忠実ですばらしい家族の一員になります。

接し方のポイントは?

狩猟本能や好奇心を満たすのに、音のなるおもちゃで遊んであげるのがおすすめです。しつけは飼い主さんがリーダーシップを取りしっかりと行いましょう。体力のある犬種が多いのでお散歩もかせませません。

PICK UP!

ヨークシャー・テリア

♥原産国 イギリス

♥歴史 19世紀半ばヨークシャー地方の工業地帯で働く人々の家で、ネズミを捕獲する目的で作られた犬種です。当時はもっと大きな体をしていました。

♥性格 活発で勇敢、好奇心旺盛な性格です。愛らしい見た目ですが、テリアらしい気の強い一面もあります。

♥しつけ&お手入れ 神経過敏なところがあるので穏やかな態度を心がけて。しかしよくない行動には毅然とした態度で接し、甘やかさないことも必要です。長くて美しい被毛の維持には、毎日の念入りなお手入れが欠かせません。

テリアと愛玩犬の魅力を合わせ持ち「動く宝石」と呼ばれる

